



写真：2016年の宮古市田老地区の様子（UR都市機構提供）

東日本大震災で被災した 宅地の復興に関するフォーラム

主催：(公社)地盤工学会

後援：国土交通省都市局 UR都市機構

(一社)地盤品質判定士会 (公社)土木学会

(一社)日本建築学会 (公社)日本地震工学会

日時・場所：2021年2月24日（水） 9:30～17:00

zoomウェビナーによる参加：フォーラム情報サイトからお申込み下さい

YouTubeでのライブ配信聴講：下記URLに直接アクセスしてください。

URL：<https://youtu.be/hDnjcwJ6Vo>

参加費：無料

G-CPD：6.5ポイント（登録・参加確認ができるウェビナー参加の方に限ります）

登壇予定：国土交通省都市局，UR都市機構

および各自治体の復興事業関係者（神栖市，鹿嶋市，東海村，千葉市、久喜市，浦安市，仙台市，西郷村，大槌町，いわき市，宮古市）

フォーラム情報サイト：<https://www.jiban.or.jp/?p=14286>



プログラム

9:30～ 9:40	開会挨拶	京都大学 三村 衛 教授（地盤工学会長）
9:40～10:00	安全な宅地をめざして	国土交通省の新たなとりくみ 国土交通省 都市局都市安全課 美濃部 雄人 課長
10:00～12:10	関東地方の諸都市の宅地の復興	司会：国土館大学 橋本 隆雄 教授 液状化被害の概要・復興事業の検討経緯・実施状況・課題と解決方法 神栖市、鹿嶋市、東海村、千葉市、久喜市、浦安市
12:10～12:25	地区全体の液状化対策で地盤工学上解決した課題と残された課題	東京電機大学 安田 進 名誉教授
12:25～13:30	各団体・企業より宅地の液状化対策および造成地滑動崩落対策に関する技術紹介	
13:30～15:00	東北地方の内陸部諸都市の造成宅地の復興	司会：(株)復建技術コンサルタント 佐藤 真吾 技師長 東北地方の造成宅地被害の概要・復興事業の検討経緯・実施状況・課題と解決方法 仙台市、西郷村
15:00～16:10	東北地方の太平洋沿岸諸都市の宅地の復興	司会：岩手大学 大河原 正文 准教授 沿岸部の津波被害宅地の概要・復興事業の検討経緯・実施状況・課題と解決方法 大槌町、いわき市、宮古市
16:10～16:30	東北地方の震災宅地被害の復興を振り返って	東北大学 風間 基樹 教授, 他
16:30～16:50	UR都市機構の災害対応支援の概要・知見	UR都市機構 災害対応支援室 堀尾 亮輔 課長
16:50～17:00	閉会の挨拶	愛媛大学 岡村 未対 教授（地盤工学会副会長・地震災害対応委員会委員長）

各団体・企業より宅地の液状化対策および造成地滑動崩落対策に関する技術紹介

午前の部が終了後12:25頃より、各々4～5分の動画を順次、放映致します。

紹介順	タイトル	団体・企業名
1	液状化ポテンシャルサウンディング (製品名：ピエゾドライブコーン (PDC))	PDCコンソーシアム(応用地質株式会社)
2	地盤災害でのサウンディングの利用について	ジャパンホームシールド株式会社
3	干渉SAR解析を用いた地盤変状調査と、接地抵抗を利用した 地下水水位簡易測定法の紹介	基礎地盤コンサルタンツ株式会社
4	室内試験に関する技術紹介	川崎地質株式会社
5	滑動崩落により被災した造成宅地の復旧対策技術	パシフィックコンサルタンツ株式会社
6	丸太打設液状化対策&カーボンストック工法(LP-LiC工法) による大規模分譲住宅事業の宅地の強靱化	飛島建設株式会社
7	静的圧入締固め工法による戸建て住宅の液状化対策の対応事例	三信建設工業株式会社
8	極超微粒子セメントを用いる液状化対策工法について	中央開発株式会社
9	浸透固化処理工法による宅地地盤の液状化対策	五洋建設株式会社
10	既設宅地の液状化対策で用いた格子状地盤改良技術	株式会社竹中土木
11	液状化・地すべり対策の地下水位低下推進レジェンドパイプ工法 ー北海道胆振東部地震・熊本地震での事例紹介ー	レジェンドパイプ工法協会
12	大地震時の宅地被害の特徴と大規模盛土造成地滑動崩落防止事業 の適用事例	株式会社復建技術コンサルタント
13	液状化ハザードマップの作成に向けた液状化被害リスクの抽出	復建調査設計株式会社